

大 幡

<INNOVA>



一年前の今頃は創立四五周年事業を控えて組織全体が動き出す、そういった時期であったと記憶しています。この周年事業は一年前より準備特別委員会が設けられたり、多くの方々をお招きし様々な企画をもってお持てなしをしたり多くのメンバーの力が必要な事業であると共に組織に対する熱い思いが結集する事業でもあります。私は創立三五周年時に入会し所属が総務委員会であったことから、理事会の場で周年事業が創り上げられる過程を見させて頂いた経験があります。そのときの理事メンバーの組織に対する大変な熱い思いを感じ、驚いたのを感じています。その後二回の周年事業を体験してきましたが、この熱い思いはメンバーが替わっても脈々と受け継がれており、四五年の活動の中で組織にビルトアップされ連続と継続されてきた特徴であると確信するに至っています。時にこれは活動テーマに対する情熱となつて、毎年強い信念のもと委員長を中心にするらしい委員会事業となつて企画実施されているのだと思います。これは一朝一夕では出来ない当会議所の良き伝統であると思います。

過日無事に終わりました鳥取こどもまつりは当会議所の前半を代表する事業であります。少年野球大会等につづいての鳥取市との共創で始まり、以来毎年欠かすことなく参画し今年で三十回を迎えました。創設当時の想いは「今どきの子どもが出来なくなっている素晴らしいことをやらせてあげよう」ということであつたと思ひますし、これは全く今でも変わっていません。委員会ではそういった原点に立ち返り、特に本年度はテーマとして「昔あそび」の有効性を見だし、非常にこだわりをもったコーナー運営が出来たと思ひます。大きなフィールドの中でメンバー全員が最高のインストラクターとなつて、子どもと本気で遊びそして保護者を巻き込んでその意義を体感してもらいながら楽しく行うことが出来ました。また、入会一、二年目のメンバーのほとんどが参加し、三十年間つづいて春の、伝統の事業の盛り上がり多くのメンバーで共有できたことは本当に有り難いことだと感じています。

一般に組織であれ事業であれ、続いてきたことには必ず創始の哲学、意義が存在するように、JC活動の原点はまちに對する熱い思いであり、これらは途絶えることなく先人から我々現役に引き継がれてきた素晴らしいものだと思ひます。

いよいよ五月であります。我々の伝統である「熱い想ひ」のもと、各委員会がますます活発となり、素晴らしい活動が行われますことを願ひします。

2005/vol.05 2005年5月18日 発行

スケジュール

- 5月23日(月) 5月青雀会(19:30~アポロ)
- 5月29日(日) ふれあい広場
- 6月4日(土) ブロックスポーツ大会(1日目)
- 6月5日(日) ブロックスポーツ大会(2日目)
- 6月8日(水) ブロック会頭公式訪問例会(東伯)
- 6月19日(日) 第2回じゃがいも(委員会対抗戦 旭国際、白兔コース 9:00集合)
- 6月22日(水) 6月定例会(19:00~ ホテルニューオータニ鳥取)



4月青雀会報告 青雀会 幹事 山本竜

4月25日(月) こどもまつりの翌日ではございましたが大変お疲れのところ、真っ赤に日焼けしたメンバーにお集まりいただき4月青雀会が開催されました。

優勝は堂々10万点を越え、雀鬼かと思わせた日本一誇り創造委員会の濱岡浩之君です。

おしゃれなネクタイが印象的で、景品であつた綺麗なお花を持ち、その後何処に行かれたのかと思ひますとジェラシーです。

さて、常連メンバーの優勝が目立つ前半の青雀会、5月は若いメンバーの方に初優勝めざしぜひ参加していただきたいものです。

また、麻雀初心者の方、幹事が優しくレッスンいたします♪



理事会報告

- 審議事項
- (1) 5月定例会次第(案)承認の件
 - (2) 出向人事(案)承認の件
 - ①環境立県民会議
 - ②平成17年度(第41回)鳥取しゃんしゃん祭り振興会
 - ③鳥取観光コンベンション協会
 - ④袋川をはぐくむ会
 - (3) その他
- 協議事項
- (1) (仮称)チャレンジウォーキングin因幡 ~2泊3日の夏物語~ 事業計画(案)の件
 - (2) その他
- 報告事項
- (1) 各委員会
 - (2) 出向理事
 - (3) その他
- 次回開催日の確認 [2005年6月14日(火)]

青雀会成績表

順位	名前	委員会	1月	2月	3月	4月	合計
1	たまひよ博士(松本)	人間力	18100	119400	25100		162600
2	(浜岡)	日本一			-1800	118200	116400
3	ビーレブチャー島津2004(島津)	会員交流	26100	43500		30900	100500
4	大木林太郎(大林)	地域経済			82500		82500
5	ワクワク温泉(涌本)	四役	65500	10100	-8800	11500	78300
6	腕白でもい浜大(浜崎大輔)	まちの輪	4900		68100		73000
7	(山下祐)	新因幡宝		-15200		62700	47500
8	お水のテキーラ(水野)	四役	22200	30400	-39000		13600
9	デュークコアベ(安陸)	総務	-3600	28400	-22400		2400
10	(谷口)	新因幡宝			100		100
11	フルーティー山根(山根一)	新因幡宝	-16200				-16200
12	ラーメン小池さん(小池)	人間力			-30200		-30200
13	がんばれ、タブチくん(田瀬)	総務	20100		-50900		-30800
14	ポッキー松島(松島)	まちの輪		-53200	19300		-33900
15	ルパン妹尾(妹尾)	人間力	-22300	-17900	-15800	18700	-37300
16	(戸田)	総務	-32400		-8100		-40500
17	泣きの竜(山本竜)	青少年	-44100				-44100
18	ボブ加藤(加藤)	新因幡宝	-19900	-16300	12700	-20800	-44300
19	ウド紙器(今川)	四役	-7200	13200	-54700		-48700
20	新星!豪(西垣)	総務	-54500				-54500
21	ゆるぎないヒロシ(岡村)	循環型	-11200	-57900	33000		-81700
22	ファッションブル山崎(山崎)	循環型			-8100	-165000	-173100

ひよこ

順位	名前	委員会	1月	2月	3月	4月	合計
1	(山根康)	日本一			55900		55900
2	泣きの竜(山本竜)	青少年		4400		49200	53600
3	(星山)	まちの輪			33500		33500
4	麺・単品!青山(青山)	総務		29900			29900
5	ミスター清水(清水)	四役			24600		24600
6	(井関)	まちの輪			12500		12500
7	昇る旭に輝く三谷(三谷)	総務			10400		10400
8	(山根和也)	青少年			10000		10000
9	(有本)	青少年			500		500
10	マイブラ誠ファン(縦?、横?)(西尾)	新因幡宝	-1100	32200	-33000	-2100	-4000
11	花のみやこ(山根雅子)	人間力		-7200			-7200
12	(井上)	メディア			-23900	14900	-9000
13	(森田智)	まちの輪			-10900		-10900
14	(大月)	総務	-1000	-3900	-6600		-11500
15	ピンヒール・キミリン(寺垣)	会員交流		-7900		-8900	-16800
16	今いーか!株師(今井)	新因幡宝		-17100			-17100
17	何だっけい?文系(田中文)	青少年			-21900		-21900
18	腕白でもい浜大(浜崎大輔)	まちの輪				-53300	-53300
19	(杉本)	新因幡宝	-7900	-30400	-41100		-79400

連続性

理事長 涌本 知彦



2005年度日本JCスローガン "JC New Generation" 新たなる日本の夢に向かって

(社)鳥取青年会議所 会報誌

Tottori Junior Chamber Inc.2005 JC report

2005年鳥取JCスローガン

静と動

~あらまほしき因幡をめざして~

2005年重点方針

市民協働によるまちづくりの実現
リーダーづくりアクションの実施

URL <http://torijc.hal.ne.jp>

第二十三回こどもまつり開催

「こどもまつりを終えて」
因幡こどもまつり実行特別委員会
委員長 山下浩史

四月二十四日、第三十回目になる鳥取こどもまつりが開催されました。今回は、開催に至るまで青年会議所としても積極的に事務局サイドに対して働きかけを行い、私自身、実行委員会の会長という役職をいただき、市と一緒に頑張って当に向け一生懸命取り組んでまいりました。当日は天候の心配も全くなく多くの子どもたち、親子連れで賑わう中、大きな事故もないうちに無事終了いたしました。外で遊ぶ子ども達が少なくなくなったという昨今の環境を踏まえて企画した「遊び教室&パネル展」そして全体企画としてJICが提案させていただきました。旧町村から参加を頂いたジグの味鳥取テント村」どちらも来場者の方々に大変喜んでいただけたと思います。しかし、それは委員会メンバーやその他の参加協力頂いたメンバーの方々のお陰と心から感謝しております。委員長である私は実行委員会の会長という立場上、なかなかJICのコーナーだけに張り付けていることも出来ず、副委員長は家庭の事情で当日残念ながら現場に来られず、そんな状況下ですべては皆様のお陰と心から感謝するとともに、やはりJICの連帯感はずいぐいと改めて感じました。一日となりました。最後に改めて感謝を申し上げます。そして、ご協力をお願いした全ての方に心からの感謝を申し上げます。こどもまつりが今後より楽しく、有意義な事業となることを祈りつつ、今回の感想とさせていただきます。有難うございました。



第30回 鳥取こどもまつりを終えて
因幡こどもまつり実行特別委員会
委員 田中健一



去る、四月二十四日(日)爽やかな春空の中、とつとり出会いの森にて開催されました。鳥取市の合併の事もありませんが、事務局の鳥取市こども科学館の先導により各協力団体の皆様とスムーズに運営が行えました。さて我々JICのブースは、「昔あそび教室」と題してゴムとび・田の字・ぐるぐるジャンケン、手つなぎオニ・ポルダッシュの5つの昔あそびを行いました。開会式直後は何処のあそびコーナーも閑散としていましたが、10分・20分経つにつれて子供たちの姿も増えて歓声や笑顔にも知らず知らず笑顔が溢れていきました。そしてジグの味「鳥取テント村」も昼時になると長い行列が出来て出店者の皆さんも大忙しの様子でした。来場者の皆様には楽しく遊んでいただくことを願っています。会場での子供達の笑顔は素晴らしいと感じました。私自身も良い体験をさせて頂き楽しい思い出が出来ました。ありがとうございました。



鳥取こどもまつりに参加して
因幡こどもまつり実行特別委員会
委員 徳田 章子

これが本当に分権が徹底した社会のありかただと思います。
中央政府の解体論が始まる道州制論議が具体化して、中国地方でまとまるというところなら、州政府であれば蘇に置くとか、津和野に置くとか、倉吉でもいいかもしれません。小さいところにも置くのでもいいと思います。
そうならば、どこに役所を置くのかと、綱引きは起こらないと思います。
日本の市町村合併で綱引きが起ったのは、まだ不便な時代を前提にしていたからではないでしょうか。

拡大特別委員会アワー

くやれば出来るみんなの力で会員拡大
2005年度 拡大特別委員会
委員長 藤木 巧

今回の拡大特別委員会アワーを通して、メンバーの皆様にもっとも会員拡大の重要性を伝えていき、将来素晴らしい組織になるため、皆で力をあわせて、会員拡大が出来るとか、津和野に置くか、倉吉でもいいかと思えます。そして今一度会報誌を通して皆様に、会員拡大の大切さが伝われば幸いです。お待ちしております。

まず始めに、組織やメンバーの資質の向上について考えたいと思います。青年会議所には、平等に4つの機会があります。「人間力開発の機会」「まちづくりの機会」「ビジネス」の機会、そして「友情」を育む機会です。われわれは、その4つの機会を使って、将来自分があるべき目標とする自分に成長しなければなりません。そして、地域社会の発展に寄与するというJICの目的を達成しなければなりません。このこと自体が、最終的には会員拡大につながるべくです。この4つの手段を使って自分自身の資質を高め、積極的な変化を作り出す能力を有する青年を育成することが青年会議所の使命です。逆に言うと、これが出来ていけば、会員拡大も確実に実績を伴ってくるということです。なぜならば、「青年会議所」として「公益法人」として、「社会開発運動会」を実践していかなければなりませんし、それ自体が、会員拡大につながるからです。また、先ほどの「積極的な変化」を作り出す「能力」を有するメンバーが「拡大」を行って失敗することがあるでしょうか。そして、「JIC活動」の基本として、共有化の上で、4つの機会をフルに活用して、「積極的な変化」を作り出せるメンバーにならなくてはなりません。つまりメンバーの成長こそが最大の会員拡大なのです。

そして私達、一人一人が青年会議所のメンバーであることを誇りに思い、自覚をもって日々活動をしていけば、組織に対して興味を持っていただける人がたくさん増えていくと思います。

「最先端の組織」とか「いい組織」をメンバー一人一人が考え行動することが会員拡大の近道と考えます。すなわちJICの究極の活動は会員拡大であり、その会員拡大を成功させるために日々地域において実践する人間と社会の開発こそが究極のJIC運動ではないでしょうか。
ここで少し頭の中に入れておかなければならないことがあります。それは会員拡大はもちろんですが、まず退会者を作らないことです。なぜなら組織を理解して入会してもらった会員拡大よりも、退会者を作らない方が簡単だからです。最初は志も高く、勇気を振り絞って組織の門を叩いたメンバーが、なぜ志がなくなり組織を去ろうとするのでしょうか。そこには、メンバー間のコミュニケーション不足があると考えました。皆さんは、自分が紹介した入会者をしっかりとサポートし組織を語っていますか?そして委員会配属の新人会員にJICの楽しさや厳しさを伝えていきますか?楽しさや厳しさを作り出すためには、お互いのコミュニケーションが大切です。初めに経験することや、組織のルールなど新しいこと事とはとても不安なことです。是非メンバーがお互いの声を掛け合い組織を語り合いたしましょう。そして、先輩後輩のコミュニケーションです。青年会議所は二〇歳〜四〇歳まで幅広い年齢と、幅広い経験が豊富にあり、活動において悩みや挫折は話せないことがありますが、在籍年数が長いメンバーには、JIC活動で困った時の対処法や、プライベートなどは、年齢が上の先輩に話をしてみたいか、かかろうか、ストレスや悩みがあると嬉しい通りの活動が出来なくなりますか?お互いの現状や組織のあるべき姿を語り合いコミュニケーションをとっていきましょう。

最後に、皆さまは、JIC活動を心から楽しんでいませんか?理由は何でしょうか?今までの何回か、自分の同期入会者は同時にスタートラインに立ち色々な経験をしています。そして一生の友になりうる存在です。他のメンバーよりも長い時間接している分、お互いの気持ちも分かってきます。皆さんは最近同期入会者と同期会などコミュニケーションを計る場を作っていますか?お互いの現状や組織のあるべき姿を語り合いコミュニケーションをとっていきましょう。
会員拡大に話に戻りますが、ここでは短期的にアクションを起し現状の入会見込みをリスアップしていくことを考えていきたいと思えます。せっかく良い人材がいるのに、アクションの遅れや現状の情報をつかんでいないけれど、何の行動が出来ません。仕事の取引先や小・中・高・大学生時代の同級生など情報はたくさんあります。日々会員拡大を意識し仕事やプライベートの時間をを過ごすためには、必ず情報がみつかる

鳥取こどもまつりに参加して
因幡こどもまつり実行特別委員会
委員 徳田 章子

四月二十四日、初めてこどもまつりに参加させて頂きました。当初は、いきなり研修会員達で企画、実行をするように言われた時は気が遠くなるような思いでした。
しかし、諸先輩方からのアドバイス、指導を頂き無事終わる事が出来ました。又、今回の事で初めて研修会員同士で連絡を取り合い、協力し合い、団結出来たことが、とても大きなイベントであり、JICが社会へ貢献していく中で自分も参加できたことは大変貴重な経験の一つになりました。
これから自分の委員会も本番をむかえます。更に活動的に自分がかまて出来るか、実感して行きたいと思えます。又、自己満足で終わらないよう本来の意図を考えていきたいと思

四月十七日(日)、春の鳥取砂丘一斉清掃が行われ、当日は初夏に近いような晴天の下、快適に作業ができました。
ともかく広大な鳥取砂丘ですが、清掃区域は団体ごとに振り分けられており、私たち鳥取青年会議所は砂丘道路の一部と、そこから海岸部、海沿いに馬の背の下へ向かうコースを担当しました。
いつもは車で通過するばかりで、一見きれいな砂丘道路ですが、実際に歩いてみると煙草の吸い殻等が多数落ちており、道路から奥まったところにはイス等の粗大ゴミまでも見受けられる状況でした。これらはいかに普段から清掃を徹底しておくかが重要であり、ゴミを捨てさせない雰囲気をつくっておくことが課題と言えそうです。今後の市民一人ひとりの意識が問われるところでしょう。
また、それら人々の劣行以外にも異変は見受けられました。久しぶりに歩いた海岸の一部が波で侵食されており、数十センチの小きな崖のようになっています。風よけの柵を設けて植物を植える等、対策らしき事もあったのですが、今後の変化が心配です。

最後になりましたが、朝早くからご参加いただいたメンバーの皆様、またご家族の皆様へ感謝を申し上げます。心から感謝を申し上げます。

道州制のメリットデメリット
中国地区協議会 地域力創造委員会
委員 山本 竜

まず道州制を論ずるときに、論ずる観点を気をつけておかなければいけません。財政が厳しくなることと政府から道州制が出てくる。そういう歴史的背景があります。財政が厳しくなったから絞りたい、そのときに束ねてしまえば効率化されるという発想から出てきます。したがって、道州制で分権化とか国のありかたを要するとか、きれいなことはつきますが、政府から出てきてくるのは、やはり財政を絞りたいということが根幹にあるので、その流れに乗って本当にやっていいのかというのを疑問に思います。
市町村合併がそうだったように、結果から見ると、同じ文脈です。

では道州制の議論はすべきでないとか反対かと言うわけではなく、財政を絞りたいためと、このような観点からの道州制論議ではなく、本当に今の日本の国のありかた、中央集権で国に集中し過ぎている今の日本の構造が今のままでいいのかというところから議論するのならば、いいと思います。

しさを皆で体感して頂きたいです。最後になりましたが、委員長・委員会メンバー・副委員長同士のコミュニケーションが委員会運営において最も大切なことの一つであると考えております。

地域経済活性化委員会 公開セミナー 報告書
委員長 福田 俊史
地域経済活性化委員会
委員長 福田 俊史

まず第一部では石破代議士から「姫島開港後の鳥取経済の予測について、現在の鳥取県のあるゆるデータをもとに、鳥根県の浜田道開通時におけるストロー現象の実態、これからの住民提案による政策実現の手法(行政、政治の使い方など)ユーモアを交えた語り口であったという間の1時間でした。
第二部では、いよいよ委員会のテーマである「景観を活かした観光政策」について、我が委員会の一連の事業計画(案)を説明し、県の3名の課長からご意見を頂きました。
まず県に新しく新設された景観まちづくり課の八幡江より、昨年6月に国が制定した「景観法」という新しい法律の説明後、鳥取の観光パンフレット等、これからの対外広報についての意見交換。最後に企画振興課の須藤氏からは「JICの事業でも、個人の仕事でも、国の法律や県の制度で阻害要因があれば、どんどん特区提案等して頂きたい。国の法律も県の制度も地域住民や民間企業に促して頂くためにある。」との事。
第二部です。この意見交換では、県のマニュアルや、マスコミ報道では得られない貴重なお話を有意義な議論に参加者すつかり引き込まれ、大変有意義な議論が展開されました。
(案)一連のアクションを理解して頂き、協力を惜しまない事を約束頂いた訳であります。
本年我が委員会は国や県の法律や制度を最大限に活用し、市民・行政を「協働」する形を目指しています。
今回のセミナーは一過性のものではなく、我々の一年間の活動のスタートとして捉えています。「因幡の景観を観光政策へ」そして地域の活性化へを合言葉に観光と役割を分担しながら、政策実現に向け全力で取り組む所存であります。最後に当日参加頂きました皆様に、心から感謝を申し上げます。公開セミナーの報告とさせていただきます。

外交と防衛と金融とマクロ経済とぐらいて、あとは全部地方でやるというような国のありかた、できれば連邦制とか、中央政府の解体再編論から始めるべきです。
ところが今行われている道州制論議というのは、道府県合併論の延長みたいなもので、基本的に道州制に分権を進む国家のありかただと思

それは中央政府から地方政府である道州に権限が移るといこと、したがって中央政府の役割機能がぐつと小さくなるということ、それは中央政府と道州との間だけではなく、道とか州の中でも同じように極度の分権が進むべきだと思

移行ということになると思

人口の多いところと道政府や州政府はなくてよく、人口が多いところと役所を置かなければいけないという事では、やはり不便な世の中で、遠かったら不便です。か、みんながたきの中で、遠くにいるところに置いておけば多くの人が便利だと思

逆に言えば、遠くの人は不便だけど、それは少数だから我慢してもらおうということ、そうではなくて、もうみんな役所なんか行かなくていい、道庁なんか行かなくていいという仕組みにすれば、どこに置いてもいいわけ、そうすれば、災害リスクの問題だとか、それから居住環境の問題であるとか、そこからすれば、小都市に置きたい、と思います。

アメリカの50州の州都というのはほとんどニューヨーク市で例えればニューヨーク州の中で、ニューヨーク市が一番大きいのですが、州政府はニューヨーク「市」にはなく、オルバーニーというハドソン川をすつと上流に行った小さな町です。

それからアールドシユルツウェンガール「カリフォルニア州」知事は、ロサンゼルスでもなくサンフランシスコでもなくサクラメントという小さい町の州政府で執務をしています。アメリカはそれを徹底して、サクラメントという小さいところに州政府があつても、巨大大人口を抱えているサンフランシスコとかロサンゼルス市の市民の人や企業は不便を感じていません。

おめでとう



3月26日に人間力開発委員会委員長 小池誠君に真優ちゃんのご誕生です。おめでとうございました。

おめでとう



四月九日に人間力開発委員会 委員 高藤大祐君に潤君のご誕生です。おめでとうございました。

おめでとう



四月二日に因幡こどもまつり実行特別委員会副委員長 松本寿一君に、ご長男悟志君のご誕生です。おめでとうございました。